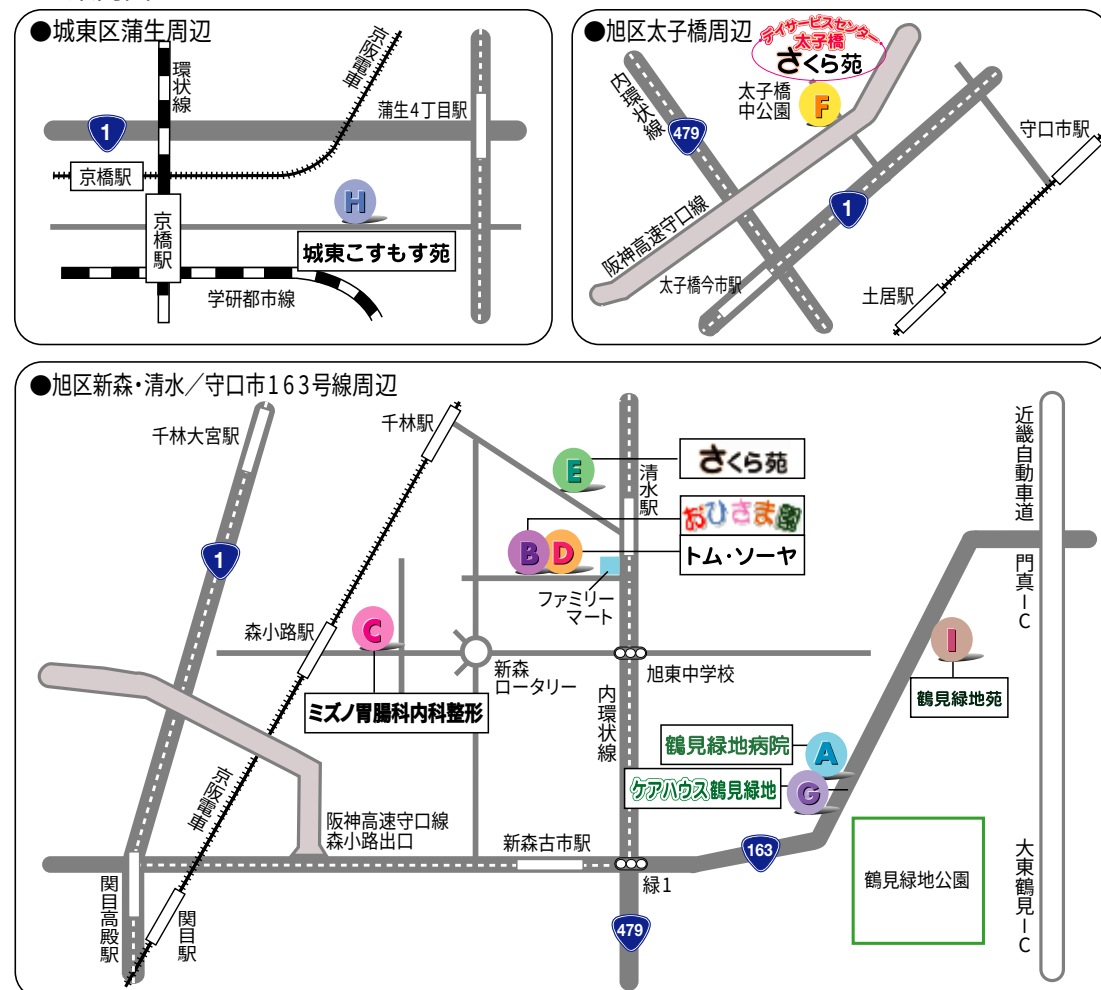


■ご案内図



清水会グループ

A 医療法人 清水会 鶴見緑地病院 〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8 ☎06-6997-0101 ㊟06-6992-0151	B 医療法人 清水会 介護老人保健施設 おひさま園 〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21 ☎06-6952-0101 ㊟06-6957-0202	C 医療法人 清水会 ミズノ胃腸科内科整形 〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31 ☎06-6952-5058 ㊟06-6952-5311
D 医療法人 清水会 訪問看護ステーション トム・ソーヤ 〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21 (おひさま園内) ☎06-6956-0505 ㊟06-6956-0808	E 社会福祉法人 清水福祉会 介護老人福祉施設 さくら苑 〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23 ☎06-6957-8008 ㊟06-6957-8009	F 社会福祉法人 清水福祉会 〒535-0021 大阪市旭区太子橋2-8-31 ☎06-4254-3003 ㊟06-6951-1001
G 社会福祉法人 清水福祉会 介護保険特定施設 ケアハウス鶴見緑地 〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16 ☎06-6998-3003 ㊟06-6998-3001	H 社会福祉法人 清水福祉会 特別養護老人ホーム 城東こすもす苑 〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-2-38 ☎06-6933-2002 ㊟06-6933-2333	I 社会福祉法人 清水福祉会 特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑 〒570-0032 守口市菊水通3-16-2 ☎06-6995-5005 ㊟06-6995-5225



医療と介護。そして、その未来へ。



Seisui

Contents

- 02 清水福祉会 浜田智志理事長に聞く
- 04 close-up／さくら苑デイサービスセンター太子橋
- 05 close-up／城東こすもす苑
- 06 close-up／ケアハウス鶴見緑地
- 07 話題・ニュース

2011.09 Vol.02

運動器系の疾患に関心持つ

—— 浜田理事長は整形外科がご専門と伺っていますが整形外科の道を選ばれた理由をお聞かせください。

理事長 私はもともと運動が好きでしたので、運動器系の疾患に興味を持っていました。それが整形外科医になった一番大きな理由と考えております。それと、整形疾患は患者さんから見て、治ったと実感して頂ける疾患が多いですし、入院された場合でも、喜んで退院して頂けるというケースが多いので、非常に患者さんが喜んでおられるのが実感できる科であると考えて整形外科を選びました。患者さんから喜んでもらえる治療を施すのは、医療に携わる者の原点だと思います。そういう意味で、整形外科は“ ためになる科 ”であるという自負はあります。

—— 高齢社会を迎えて、どのような患者さんが増えてきましたか、またその治療について伺います。

理事長 加齢変化に伴う疾患が多いですね。例えば腰痛とか関節疾患（特に膝）などがお年寄りの方に多い疾患です。治療に当たっては、症状に合わせた治療が大事だと思います。急性期には薬物療法ですね。あるいは内服薬による場合や注射による場合もあります。また、筋力強化等のリハビリテーションも大事になってくると思います。このようなさまざまな治療の結果、疾患によっては元の状態に戻るのには難しい場合もありますが、日常生活を支障なく送れるようにはなると考えられます。さらに、薬物やリハビリ治療で改善しない場合は、手術療法等を考えるケースも考えられます。

—— 高齢者の方々に、整形外科医としてアドバイスされることは何ですか。

理事長 整形外科で扱う骨や筋肉は、普段から使うことによって強化されるものです。ですから大事にするだけではなく、ある程度の負荷をかけるといい



適度の運動を習慣に 介護施設の拡充は時代の要請

ますか、何かしっかり運動を行うことが大事です。骨も丈夫になりますし、筋肉も良い筋肉になってきます。普段から運動を心掛けて頂いたらよいかと思います。年をとると、運動が大儀だと言われる方がおられますが、動くことが日常生活の習慣になるように、心掛けてほしいと思います。運動は、やりすぎると逆効果になることがあります。目安としては、翌朝無理なく起きられる程度の運動がよいのではないのでしょうか。無理のない運動を毎日、あるいは二日に一回行うのを習慣にしてやって頂きたいと思っています。

「終の棲家」を立ち上げるのが夢

—— 特別養護老人施設の「鶴見緑地苑」（守口市内）と「城東こすもす苑」（城東区内）が開設されますが、このような施設の今後をどのようにお考えですか。

理事長 高齢になって介護力が低下し、介護を受けたいというご相談を受けることが増えてきました。

高齢社会の医療と介護

平成10年に開設しました介護老人保健施設「おひさま園」については、お陰さまで地域に溶け込み、喜んで頂ける施設になっております。ただ、老健施設は制度上、「終(つい)の棲家(すみか)」とはなりませんので、ご自宅にお帰り頂くということになります。

そこで、「終の棲家」になる所を立ち上げたいということで特別養護老人ホーム「さくら苑」を平成16年に開設するに至りました。その際、大阪市から公募がございまして、審査の結果、私どものグループが選ばれ社会福祉法人として立ち上げさせて頂いたという経緯があります。これには先代の水野信子先生がこのような気持ちをかねてより強く持っておられたところから、今のグループの介護の道を開かれたと考えております。その道を私どもが水野郁子理事長と一緒に引き継いでやらせて頂いています。

介護施設はまだまだ足りません。そうした状況の中で、今回、城東区内に「城東こすもす苑」を開設することができました。また、守口市にも開設の認可を頂き、「鶴見緑地苑」を開設する予定となった次第です。施設的にはかなり不足しているというのが現状です。統計的にも2025年までは老人人口が増えるということですし、実際日々診察していても相談を多く受けます。「さくら苑」でも何百人待ちという入居希望者がおられますので、その方々のご希望に沿いたいという気持ちです。



重介護になる前のリハビリが大事

—— 「さくら苑デイサービスセンター太子橋」がオープンしましたね。

理事長 先ほども言いましたように、運動というのは日々習慣になるようにやって頂くというのが一番いいのですが、実際運動するとなるとそういう施設がないとやりにくいという面があります。ご要望にお応えするために「さくら苑デイサービスセンター太子橋」を開設させて頂きました。もともと鶴見緑地病院はリハビリに力を入れております。

リハビリが得意分野ですのでその特性を生かして地域貢献して参りたいと考えています。重介護の状態になってからリハビリしてもなかなか効果を望むのは難しいです。リハビリは重介護になる前の段階であれば効果がより期待できます。その意味で予防介護は非常に大事な分野と考えております。

—— 最後に、今後更なる発展が期待される清水会グループの目指す方向性についてお聞かせください。

理事長 法人理念にもございますように、地域の方々に愛される施設ということで、地域のニーズをしっかり受け止め、それに対応する施設を運営して参りたいと思います。また地域の皆さまのご協力がありまないと、こうした施設は成り立ちません。地域に根差した施設という視点を大事にしていきたいと考えております。

8月 旭区に「さくら苑デイサービスセンター太子橋」がオープン!



齋藤浩平センター長

ごあいさつ

地域に愛されるセンターを目指す

オープンして2か月近くが経ちます。その間、スタッフ一同、ご利用頂く方々に、安心してリハビリを受けて頂けるように日々努力と研鑽を重ねて参りました。

当センターは、マシンとスリングトレーニングを中心に、個々の状態に合わせたプログラムを作成し、マンツーマン体制でリハビリをすることによって、機能向上と動作改善を目指しています。スタッフ一丸となって、皆さまに愛されるデイサービスセンターに育てて参りますのでご支援をよろしくお願いいたします。



営業ご案内

- 定員 午前(9:00~12:30) 20名
午後(13:30~17:00) 20名
- 営業曜日 月・火・水・木・金(祝日も営業)
- お申し込み ご担当の居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)または当センターにご相談ください。
- ご利用料金 要介護認定により異なります。
※介護予防通所介護にも対応させて頂いております。
(要支援1・要支援2の方)
詳しくはお問い合わせください。



お問い合わせ先

☎06-4254-3003

さくら苑デイサービスセンター太子橋
大阪市旭区太子橋2-8-31

9月1日 特別養護老人ホーム「城東こすもす苑」がオープン!

明るく快適な生活空間 安心のサポート体制

9月1日、城東区蒲生に、特別養護老人ホーム「城東こすもす苑」がオープンしました。「城東こすもす苑」の特徴は、入居者の個性を大切に、家庭的な雰囲気の中で生活することを実現するため、全室個室・ユニットケアを実現したことです。そして、各種専門スタッフが力を合わせ、介護・医療の両面から安心のサポート体制で、心から喜ばれる生活空間を提供させていただきます。



共同生活室



居室

8月24日 盛大に竣工式

8月24日、「城東こすもす苑」の竣工式が盛大に行われました。竣工式には、地元聖賢連合町会長はじめ地元住民の代表や施工業者の代表等、多数の来賓が参加。

城東区内初となるユニットタイプの特別養護老人ホームの竣工を祝いました。



8月28日・29日 内覧会

9月1日のオープンに先立ち、「城東こすもす苑」の内覧会が8月28日、29日の両日に亘って行われました。

これには、入居を希望する家族連れの方々等が多数来苑、案内する職員の説明に、熱心な表情で耳を傾ける姿が見られました。



事務方特集

関連医療施設に隣接 充実した安心のサポート体制

入居者の皆さまから明くて、居心地の良い施設としてご好評を頂いている介護保険特定施設「ケアハウス鶴見緑地」。この「ケアハウス鶴見緑地」が「安心」を入居者の皆さまにご提供できる理由の一つは、関連施設の「鶴見緑地病院」に隣接しており、医療が必要な時には直ちに対応できること。そして二つには若さあふれる各種専門スタッフが、力を合わせて安心のサポート体制を敷いていることです。今回は、施設で働く職員たちの中核として活躍している少数精鋭の事務方の6人をご紹介します。



***** 私たちでサポートしています! *****



施設長
津村 政勝さん

“福祉のエキスパート”と称される信頼厚い施設長。「居心地がよい、と入居者の皆さまから喜んで頂いています。ここに住んで良かったと、生き甲斐を持って生活して頂ける施設に発展させていきます」と力強いコメント。



課長代理
霜村 和三さん

鶴見緑地病院の医事課で14年。事務方のベテラン。「利用者の皆さまは、『私の住居』との思いで生活しておられます。生き甲斐をもって生活して頂ける生活空間を提供させて頂くために、さらに努力を重ねていきます」



生活相談員
荻野 修一さん

向上心旺盛。まだまだ未熟、発展途上と謙遜の弁。「毎日何か一つ身につけていこうと心がけています。若い職員が明るく働いている職場、まだまだ伸びていく職場です。介護の仕事がもっと高い評価を得られるように頑張りたい」



介護支援専門員
荒木 香織さん

現場での介護経験は豊富。介護業務には自信を持っている。「人と人の関わりの強い仕事です。入居者の皆さまが笑顔で居て頂けるのが何よりの喜び。アットホームな生活空間を築くための創意、工夫を心掛けています」



管理栄養士
安藤 星子さん

食の管理を一手に引き受ける。入居者の皆さんの健康管理を日々怠らない。「入所してこられた時は普通食の人も、だんだん変化してきます。食べやすく、しかも見た目も美しいお食事をご提供できるように日々努力しています」



近藤 幸恵さん

地味な仕事だが、リハビリに励む入居者の手足となって働く大事な立場。「施設と病院の間を、リハビリに励む入居者さんの送迎をしています。人と接することが大好きな私。明るく楽しい対話を心がけながらの毎日です」

清水会グループで特別講演会

講師に西本泰久先生
(NPO大阪ライフサポート理事長) 招く

「東日本大震災の現場で今、思うこと。――災害への備えについて」

7月20日午後6時から、さくら苑地域交流スペースで、清水会グループ主催の特別講演会が行われました。講師にお招きしたのは、NPO大阪ライフサポート協会理事長の西本泰久先生。西本先生は、大阪医科大学 生態管理再建医学講座救急医学教室准教授、大阪府医師会理事等の肩書もお持ちになり、救急防災の専門家として、医療従事者にとどまらず、幅広く一般市民に対する啓もう活動を展開されています。



西本講師

この日の講演テーマは「東日本大震災の現場で今、思うこと――災害への備えについて」。講演の中で西本先生は、大震災直後の3月22日から、医療支援の先遣隊として岩手県盛岡市に入り、釜石市や大槌町等の被災現場において実体験された医療の状況を、生々しいスライド映像を紹介しながら語られました。

1時間半に及ぶ大変示唆に富んだ講演でしたが、参加した一人は「『災害医療とは、災害が起きた時にどう対応するかということ。その際、普段やっていないことはできない。普段から準備し訓練をしておくことが非常に大切である』と訴えられました。自分自身の問題として深く受けとめました」と語っていました。講演の締め括りで西本先生が「最後は人です。災害の初期診療が行える人を育てる必要がある」と強調された言葉が印象的でした。

泌尿器科 外来のご案内

最近、
●おしっこの回数が増えてきた。
●おしっこの出が悪くなった。
●おしっこが、濁っている。

おしっこのことでお悩みがある場合は、
当院の泌尿器科にご相談ください。

お問い合わせ先

☎06-6997-0101

【診療曜日】
月・水・土

【診療時間】
午前9時～12時
※月曜日のみ
午前9時30分～



医療法人 清水会 鶴見緑地病院